

## 自動車メーカーの休日変更により想定される県内への主な影響（各部局による聞き取り結果のとりまとめ）

項 目		想 定 さ れ る 影 響
県民生活への影響	保育所（休日保育）、幼稚園（預かり保育）、放課後児童クラブへの影響	○ <u>新たに、土・日曜日に、休日保育や預かり保育、放課後児童クラブを利用したいという家庭が生じることが想定される。</u>
	企業社員への通勤（公共交通機関関係）への影響	○ <u>公共交通機関は、平日と土・休日で運行本数に差を設けているため、自動車メーカー（トヨタ）及び関連企業の社員の通勤に影響があると考えられる。</u>
	学校行事等の実施時期の変更	○ <u>保護者や地域の方々の参加を前提とした行事（PTAの行事、参観授業等）の計画を変更する必要性が生じる可能性がある。</u> ○ <u>中学校の職場体験や高校の企業実習を、企業から土・日に行うよう要請された場合、学校の授業日を変更する必要性が生じる可能性がある。</u>
産業活動への影響	中小企業・下請企業への影響	○ <u>自動車関連の下請業者も受注先の多様化を進めており、土・日だけでなく、木・金も製造ラインを休止することはできず、休日なしのフル操業が必要になる。製造ラインのスタッフの手当てが必要。土・日の製造ラインスタッフの賃金が通常よりも高くなる（休日出勤手当等支給）ことが予想され、コストがアップする。</u>
	観光等への影響	○ <u>休日が分散化することにより、観光地等の混雑が解消され、全体として旅行者が増える可能性がある一方、学校等の休日と休みが異なることにより、<u>家族連れの旅行や外食などの需要が減少する恐れもあるなど、メリット、デメリット双方が想定される。</u></u>
その他	技能検定（国家検定）の受検への影響	○ <u>国が全国統一日程として日曜に実施する技能検定（自動車関連職種）を、自動車関連企業に勤める技能者が受検できなくなることが想定される。</u>